



■Jリーグ村井チェアマン講演（2016.9.10）■



■埼玉新聞（1991.1.19）浦スポ設立関連記事■

オーナーシップ・メンバーシップ

■村井チェアマン 「オーナーシップ醸成を」

9/10～11に、浦和コミセンにおいて日本体育協会主催、彩の国SCネットワーク主管で関東クラブネットワークアクションが開催されました。基調講演には、Jリーグ村井チェアマン（さいたま市在住）が登壇され、「Jリーグ100年構想と総合型地域スポーツクラブ」と題してお話をされました。

Jリーグ発足は1991年11月。浦スポと同様に今年で25周年を迎えます。Jリーグの設立の目標は、日本サッカーがワールドカップで活躍できる代表チームをつくることと、日本にスポーツ文化を根付かせることでした。浦スポが掲げた選手の育成と生涯スポーツの振興も同様の主旨であったと思います。

25年経ったいま、Jリーグはどのような状態で、今後はどのようなことに力をいれていくのかをお話いただくことができました。

村井チェアマンのお話しの中で最後に強調されていたのが、「オーナーシップの醸成」です。

ガンバ大阪の吹田スタジアムが行政に頼らずに市民や企業の力で建設されたことを例に上げられ、スタジアムやスポーツ施設といった社会資本を整えていくのに、なんでもかんでも行政頼みではなく、市民も参加・参画していくことで、社会を変えていくことができるのではないかと話されました。

特にスポーツ施設の整備・充実といった点で、Jリーグが率先していきたいという話をされていました。



■シッキーズでは「クラブメンバーシップを大切に」

同イベント2日目のセッションでは、志木市のクラブシッキーズからモデル事業の取組みの紹介がありました。

会場から「シッキーズのスタッフの人数」について質問が出た際に、増田理事長から「シッキーズには、いわゆるスタッフはいない。全員が会員、クラブメンバーであり、時と場合で運営側であったりプレイヤー側であったりと役割が入れ替わるだけ。メンバーシップという考えを大切にしている」という回答がありました。

■あのFCバルセロナのソシオ制度

サッカーの好きな方は、FCバルセロナのソシオ制度というのを聞かれたことがあると思います。

バルセロナはソシオ会員の会費を元に運営されています。今では、世界中で十数万人のソシオ会員がいるといわれていますが、もとは、自分たちのクラブを運営し続けていくために出し合った会費です。

街のスポーツクラブとして市民に愛され、また長い歴史をかけて発展してきたからこそ成り立つ制度と言えます。

国や自治体から用意されたものではなく、また、特定の企業が経営するものでもなく、自分達の組織として、出資もし、運営にも関わっていくということが、日本国内ではあまり慣れないのかもしれませんが。

しかし、古く続くお祭りなどは、ある意味、市民のオーナーシップにより守られてきたとも言えますし、メンバーシップにより執り行われてきたとも言えるかと思えます。

Jクラブだけではなく、地域スポーツクラブが、市民の身近なオーナーシップづくりにつながるようになれば、まちづくりが変わっていくのかもしれませんが。

駒場体育館 指定管理者 自主事業企画運営

浦スポは、(株)埼玉シミズとJVを構成し、駒場体育館の指定管理者を受託し、主に自主事業の企画運営を担っています。9月は、以下の2事業を行いました。

■走り方教室 埼玉大陸上部と110H日本歴代3位の指導

運動会シーズンを前にした9/1(木)・8・15の3回シリーズで計画したところ、定員の倍近い応募があり大人気の教室となりました。

1・2回目は、埼玉大学陸上部の大学院生、3回目には、110mハードルで日本歴代3位の記録を持つ帝京平成大学医療スポーツ学科助教の大橋祐二さんが指導。

1回目に、20M走を計測して、教室受講前のタイムを確認。その後、ラダーを使った足の着き方・腕の振り方の練習、壁を使って腿の上げ方の練習、そしてスタートダッシュの練習と、様々なメニューに、子どもたちは、真剣に一生懸命取り組んでいました。その結果、3回目の20M走ではほぼ全員が速くなりました。最後にリレーを行って盛り上がりました。



■高齢者向け科学的筋トレ教室

この教室は、毎年、春と秋に開催しています。今回は、9/6から毎週火曜日の8回コースで実施しました。

15名の方が参加し、骨格や筋肉の種類などの体の仕組みの講義の後、実際に、それぞれの筋肉の動きなどを意識したトレーニングを行います。

無理なく、自分のペースで、体の動き、筋肉の動きを確認しながら行っていきます。



定期活動プログラムの様子

■のびのびスポーツ広場

金曜：小学生クラス

夏休み期間中は、小1～小6まで一緒に行いました！

低学年の子は、高学年のお兄さん、お姉さんと一緒に難しい事にも挑戦。

高学年は、低学年の子に教えてあげたりするなど、いつもとは違う子どもたちの姿を見ることができました。



■駒場キッズテニス

水曜18時クラス

サーブやボレー練習に励んでいます！



キッズテニス大会 in SAITAMA

10月29日(土) 浦和駒場体育館

- キッズテニスまたは硬式、軟式テニスの経験がある小学生対象大会へのエントリーは10月7日締め切りです。今すぐお申込みください。
- これからテニスを始めたいお子さん向けの教室も同時開催！年中さん～小3対象です。定員に空きがある限り受付しますので、お気軽にお申込みください。

クラブ設立25周年・倉持初代理事長を偲ぶ会

9月22日にラフレさいたまで、50名の参加のもと開催できました。国立スポーツ科学センター初代所長浅見先生からのお話しに続き、さいたま市体育協会北会長に献杯のご発声いただきました。

その後、25年を写真で振り返りながら、参加者の皆さまから、倉持先生やクラブの思い出、これからのクラブに期待することなどをお話しいただき、あっという間の2時間でしたが、倉持先生が、高校の校長職を務めながら、県協会のクラブチームも含めた2種委員会設置にこだわりつけられたエピソードが、特に印象深く残りました。

諸先輩方のご尽力でクラブが設立され、今、毎週のようにスポーツを楽しんでいただけることに感謝をしながら、次の25年にむけて取り組んでいきたいと思っております。